

グローバルなサプライチェーンを支える、日本の中小型株企業

中小型成長株オープン 愛称 スモール・モンstars・ジャパン

追加型投信／国内／株式

- このレポートは12年超の運用実績をもつ当ファンドが今注目するテーマ、企業についてご説明します。
- ファンドマネージャーが社会の変化をとらえて注目するマーケット、AI・半導体企業の成長を支える中小型株企業、当ファンドの運用実績について、ご紹介しています。

大企業の成長を支える、知る人ぞ知る中小型株

今、ファンドが注目する企業群

当ファンドは国内の中小型株に投資を行います。足元では、社会の変化をとらえ、成長産業を支えている企業に注目し、将来的に飛躍が期待される企業を厳選しています。まだ市場が気づいていない成長企業を徹底した企業調査で発掘します。

▶「産業の成長に欠かせない存在」

AI・半導体・データセンター——構造的な成長テーマが注目されています。現在は、大手半導体企業にとって、高度な技術力や専門性と機動力で不可欠な存在となっている日本の中小型株企業を発掘し、投資しています。

世界の半導体を支える、知られざる日本のチカラ

世界が注目する半導体——その製造を支える加工・材料・検査の分野では、独自の専門技術を持つ日本企業が存在感を高めています。グローバルなサプライチェーンの中で、重要な役割を担っています。

イノテックの先端検査、アズビルの精密計測・制御、オルガノの超純水技術——いずれも大手半導体メモリーメーカーの製造に不可欠な技術基盤です。高い参入障壁と専門性が、競争力の源泉の一つになっていると考えられます。

小さな革新が、次の主役企業をつくる

優れた技術力を持ちながらも、知名度が低く、市場で十分に評価されていない中小型株が数多く存在しています。しかし、設備投資や海外市場への進出、新技術の実用化といった着実な変化の積み重ねを通じて大きく成長する可能性があります。当ファンドは、そうした“静かな変化”をいち早く見極め、企業の本質的な成長性を丁寧に分析することで、「次の主役企業」となり得る中小型株への投資を続けてきました。

▶ 12年超の運用実績

徹底した企業訪問と独自の調査を通じて、財務データだけでは見えない変化を捉え、確信度の高い銘柄選定を積み重ね、長期にわたる安定したパフォーマンスに結実しています。

今、ファンドマネージャーが注目する企業群の変化

【過去】大企業がやらない領域を担う企業

【現在】

大企業に不可欠な製品・サービスの供給元

組入上位10銘柄の組入比率(2026年4月末現在)

銘柄名	比率	銘柄名	比率
1 西華産業	6.0%	6 エクシオグループ	4.0%
2 キッツ	5.6%	7 アズビル	3.8%
3 扶桑化学工業	5.0%	8 平河ヒューテック	3.7%
4 イノテック	5.0%	9 オルガノ	3.7%
5 大栄環境	4.1%	10 名村造船所	3.4%

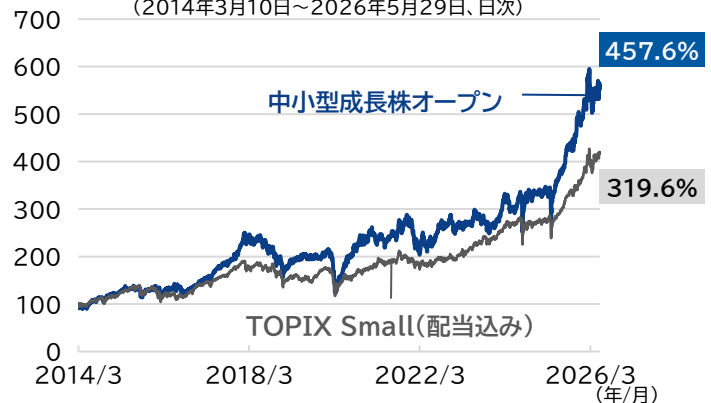
※比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

大手半導体企業を支える企業	イノテック	テスト工程に係る機器
	アズビル	工場・ビル空調管理、生産プロセス制御が重要
	オルガノ	ウェハーの洗浄工程で高純度の水が必要

※上記は個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および当ファンドの組入れを保証するものではありません。

当ファンドとTOPIX Small(配当込み)の推移

(2014年3月10日～2026年5月29日、日次)



騰落率	(2026年5月29日現在)			
	1年	5年	10年	設定来
中小型成長株オープン	53.8%	141.8%	307.3%	457.6%
TOPIX Small(配当込み)	45.3%	127.0%	237.6%	319.6%

※基準価額は1万円当たり、作成基準日現在、年率0.935%(税抜0.85%)の信託報酬控除後です。
 ※当ファンドの設定日(2014年3月10日)を100として指数化しています。
 ※TOPIX Small(配当込み)は、設定日が100になるよう換算して表示しています。ベンチマークではありません。
 ※騰落率は、1年前、5年前、10年前の各月の月末および設定日との比較です。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

留意事項

SBI岡三アセットマネジメントについて

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人資産運用業協会に加入しています。

投資リスク

■投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

■ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

その他の留意点

■ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

■投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

■分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

■取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

お客様にご負担いただく費用

<お客様が直接的に負担する費用>

■購入時 購入時手数料 :ありません。

■換金時 換金手数料 :ありません。

信託財産留保額:ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

■保有期間中 運用管理費用(信託報酬):純資産総額×年率0.935%(税抜0.85%)

■その他費用・手数料

監査費用 :純資産総額×年率0.011%(税抜0.01%)

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<指数について>

■配当込みTOPIX Small(以下、「TOPIX Small(配当込み)」)といえます。)の指数値及び TOPIX Small(配当込み)に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

電話番号 03-3516-1300 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)

販売会社一覧 (2026年5月29日現在)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	日本証券業協会	加入協会		
			一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
立花証券株式会社	関東財務局長(金商)第110号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
(登録金融機関)					
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

※株式会社SBI証券は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。